



漏電とは、読んで字のごとく電気が漏れること。
 電気が漏れると、感電や火災を引き起こし、大変危険です。
 漏電を未然に防ぐためには、どんな方法があるのでしょうか？

ローデン

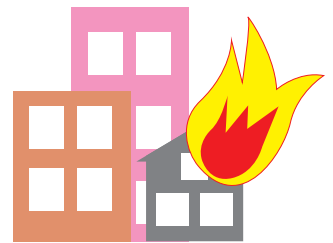


“漏電”ってなに？

電気は、正常時には配線や電気器具の中の安全な通り道を通っています。
 これは、ビニールなどの絶縁物で覆われ、保護されているおかげです。
 しかし、この絶縁物が傷ついたり古くなったりすると「絶縁不良」になり電気が外に漏れ出します。
 これが漏電で、漏れ出した電気は、「漏れ電流」「漏洩電流」、または「地絡電流」と呼ばれます。

“感電”や“電気火災”などの原因に

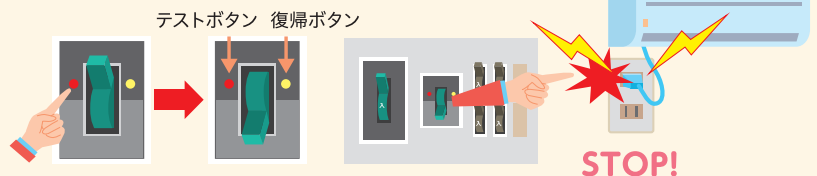
- 漏れ出した電気が人の体に流れると感電し、最悪の場合、死に至ります。
- 漏れ電流が建物の中を流れて発熱し、電気火災を引き起こす恐れがあります。



漏電を防ぐには？

漏電遮断器は、漏電が発生すると自動的に電気を止めます。一般的に分電盤に漏電遮断器が設置されており、漏電による感電を未然に防いでいます。

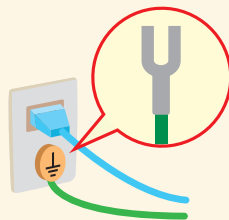
月に1回程度
 漏電遮断器のテストボタンを押して
 スイッチが切れるか試してください



※テストをするときは、事前にパソコンなどの精密機器や重要な機器の電源を切ってから実施してください。

アースを取り付けましょう

「アース」とは、電気を逃がす通路のこと。電気器具にアースを取り付けておけば、万一漏電した場合にも大地に逃がす道が作られ、感電の危険を少なくします。



〈こんな製品にはアースの取り付けを〉

- 洗濯機 ●冷蔵庫 ●エアコン
- 衣類乾燥機 ●電子レンジ
- 食器洗い機 ●電気温水器
- その他水気や湿気の多い所で使う器具



みまもちゃん



- 当協会や類似した会社名を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は ⚡ のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。

電気に関するご相談は、最寄りの事業所またはホームページでお受けしています。

<https://www.kyushu-qdh.jp>

九州電気保安協会

検索



一般財団法人

九州電気保安協会

“感電”ってなに？

電気が体に流れて「ビリッ」と強い衝撃を受け、しびれることを「感電」といいます。

電流が体を通して流れて感電するのです。

電流の大きさによって、感じ方が違い、最小感知電流(1mA)や付随電流(15mA程度)、心室細動電流などにわかれます。

例えば、電球(40W)は400mAの電気が流れているんだ。
電気製品は正しく使い、感電しないように気をつけよう。

ほあんくん



人体に対する電流の影響

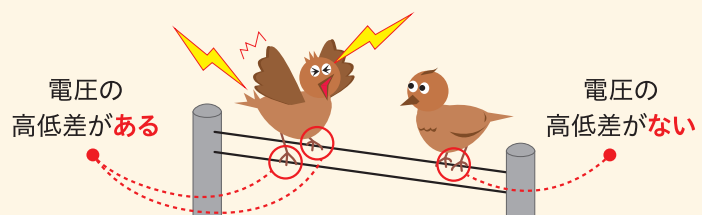
- 1mA** ピリッと感じる程度
- 5mA** かなり痛い
- 10mA** 耐えられないほどビリビリくる
- 20mA** 筋肉の硬直が激しく呼吸も困難
引き続き流れると死に至る
- 50mA** 短時間でも生命にかかわる
- 100mA** 致命的な障害を起こす

切れたコードや電線には
絶対に触れないように注意しましょう!



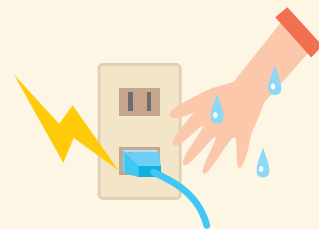
どうして感電するの？

電線に鳥が止まっている光景をよく目にします。鳥はなぜ感電しないのでしょうか？
1本の電線に触れているだけだと電圧の高低差がないので、感電しません。鳥も人間も電気が体に流れると感電します。



濡れた手は危険

水は電気を通しやすく、濡れた手でスイッチやプラグに触るのは危険です。手や足が濡れていると感電した際に体に及ぼす影響が大きくなり、100ボルトでも死亡することがあります。



お役立ち情報

子どもがいたずらで感電

子どもがコンセントにヘアピンやクリップなどの金属片を差し込んで感電し、やけどを負う事故が発生しています。子どもは様々なことに興味を持ちます。コンセントや延長タップに専用キャップを取り付けて穴をふさぐなど、事前に対策をしましょう。

